

予報期間 12月14日から12月20日まで

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 16日は、気圧の谷が北日本を通過する。高気圧が日本の南を東へ移動する。
- 17日は、気圧の谷が日本付近を通過する。
- 18日は、日本海に高気圧が移動する。
- 19日から20日にかけて、高気圧が日本付近を東へ移動し、20日は日本海に気圧の谷が進む。

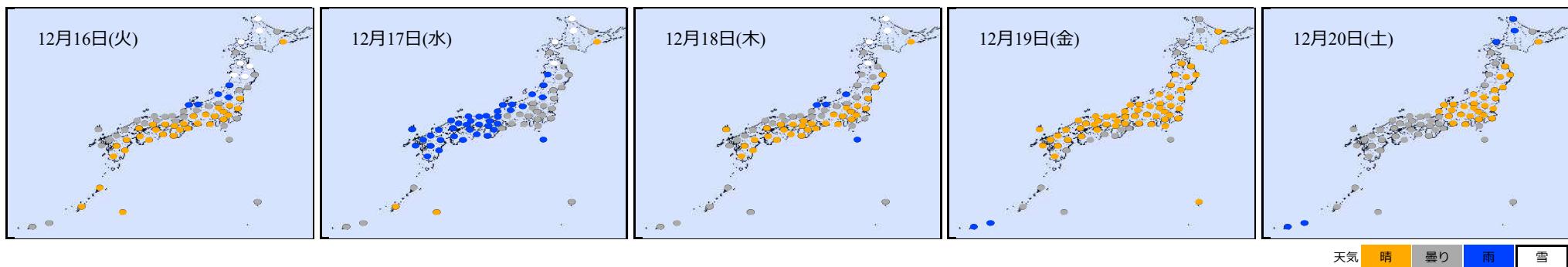
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

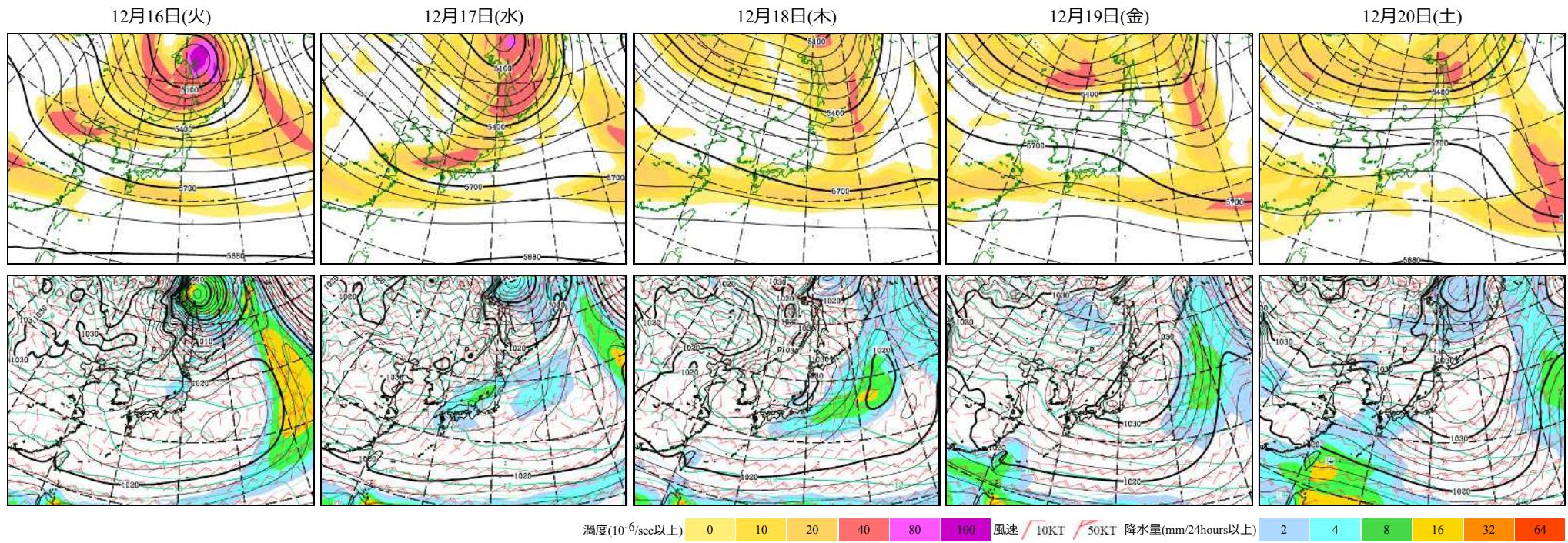
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

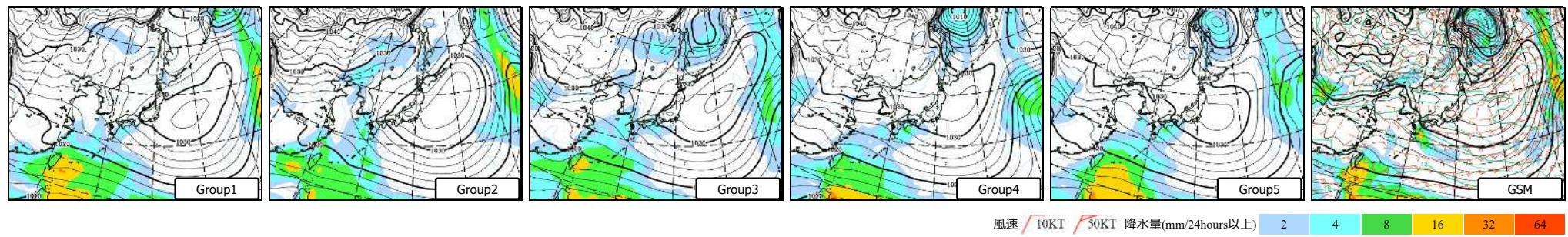


- 北日本と東日本日本海側は、曇りや雪または雨の降る日が多いが、19日と20日は晴れる所が多い。
- 東日本太平洋側は、晴れまたは曇りの日が多い。
- 西日本は、晴れまたは曇りの日が多いが、17日は雨の降る所が多い。
- 沖縄・奄美は、晴れる所もあるが雲が広がりやすく、19日と20日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆12月20日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料（ENS）は、大きな初期値変わりはない。19日に日本付近に進むリッジが明瞭になった。地上の気圧配置の予想も大きな初期値変わりはない。
- 各モデルともに、17日頃までは初期値変わりは小さい。18日以降はトラフやリッジの予想に初期値変わりが見られる。
- 20日は、GSMとNCEPはオホーツク海で低気圧が発達する予想をするが、ECMは異なる予想となっている。ENSは、GSMやNCEPに近いメンバーが多いが、ECMに近いメンバーも含んでいる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。